File NO 11
2020.9

サトコジファイル

Satoko File

福生市議会議員

佐藤こうじ

議員活動レポート

福生「生きがい都市」宣言！

「多摩スポーツ議員連盟」の設立式を行いました。

コロナ禍により延期していた「多摩スポーツ議員連盟」の設立式を8月28日に行いました。現在、地域スポーツを取り巻く課題は、施設維持管理や人材確保など自治体間で共通する地域課題です。こうした課題を解決するため、スポーツを通じ広域連携を図り、自治体間の垣根を取り払い、スケールメリット、インフラ資産等のあらゆる資源を生かし解決を図っていきたい。誇りを持てる地域づくりを実現していくため、まずは一歩目を歩み始めます。

多摩スポーツ議員連盟メンバー ※写真は広告媒体用としてマスクを外して撮影いたしました。

写真上段 ［福生市］佐藤 弘治　［羽村市］秋山 義徳　［青梅市］鴨居 孝泰　［あきる野市］日原 省吾　［昭島市］山本 一彦
写真下段 ［青梅市］阿部 悦博　［羽村市］印南 修太　［福生市］清水 義朋　［あきる野市］村野 栄一　［昭島市］三田 俊司

視 察

スポーツを通して「生きがい」を！

市営競技場が人工芝化

総務文教委員会で人工芝グラウンド等が整備された市営競技場を視察しました。フィールドのグリーンとブルーのコントラストがとても美しく生まれ変わった当競技場は、4月よりネッツトヨタ多摩株式会社とのネーミングライツ協定が締結されており、愛称は『ネッツ多摩S&Dフィールド』。陸上競技・サッカーのほかアルティメット、ソフトボールなども行えます。管理棟の会議室、救護室、シャワー室等もリニューアル。福生市民のみならず西多摩地域をはじめ多くの方々にご利用いただけるよう私もPRしていきます。

※ネーミングライツについては令和元年第3回定例会で取り上げました。

視 察

新しい時代の公共施設の在り方を学ぶ！

文化創造拠点「シリウス」を視察（神奈川県大和市）

シリウスは、図書館を核とする複合施設。子供から大人まで、多くの市民が芸術文化や生涯学習の素晴らしさを実感できる施設で、新しい時代の公共施設の在り方を学ぶことができました。市民生活に資するとともに市民の「生きがい」が生まれる複合施設について議論を深め、まちづくりへの提言を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止策に係る要望書を提出しました。

新型コロナウイルスが拡大していくなか、市長はもとより都議会議員や国会議員とも意見交換を重ね市民の窮状を訴えてきました。そして4月及び6月には、市内事業所、個人商店、子育て世代保護者、高齢者など市民の皆様に聞き取りをし、これをもとに会派として市へ要望書を提出いたしました。以下その主な内容です。今後も市民の皆さんの声を聞き、あらゆる情報収集に努め、必要な対策が有効に講じられるよう力を尽してまいります。

『新型コロナ感染症拡大防止対策に関する要望書』

4月21日提出

- ●国・東京都及び市の感染症拡大防止策の市民への啓発及び周知徹底
- ●市内事業者、個人経営者、商店主等及び非正規雇用労働者への支援充実
- ●外国人や高齢者、障がい者等あらゆる市民への対応の充実
- ●子どもの学びの保障及び良質な生活環境の維持継続と精神保健福祉施策の充実
- ●感染症拡大が収束しない場合を想定した地域防災計画の策定

『国の令和２年度 第２次補正予算に係る福生市の取組に対する要望書』

6月25日提出

- ●市内企業及び個人事業者全般への支援
- ●市内飲食業者への家賃補助等の支援　●地域経済全体への新たな支援策
- ●複合災害の発生時に備えた備蓄倉庫の確保
- ●地域医療機関へ医療物資等の支援
- ●学校教育における人材登用を含めた新たな制度設計

防 災

市議会として災害時対応力を強化！

震度６強を想定した訓練

副座長を務める、議会改革に関する協議会で「福生市議会災害対応方針（案）に基づく訓練」を行いました。今回の訓練は、震度6強の地震の発生を想定し、電話・メール・FAX・SNS等を活用し、地震や家族の安否報告を行い、地域で収集した災害情報の報告を行いました。災害時に注意を要すると考えている事業所や高齢者宅を周り、写真を撮って福生市議会のFacebookにメッセンジャーで状況を伝えました。改善点等について協議し議会の災害時対応力の強化に結び付けます。

環 境

市民の皆さまが安心できる環境整備

玉川上水と周辺状況を調査

玉川上水沿道を歩き調査しました。川底にごみや土砂の堆積等が見られました。この水は現在も飲料水に使用されています。生物多様性に配慮しつつ除草及び浚渫により環境整備を行う必要があります。また中福生公園に近い「熊野橋歩道橋」はサビがとてもひどい状況です。市民の安全にかかわりますので市の担当課や東京都へ状況を説明し改善・修復へつなげます。

防 犯

防犯対策の充実と防犯活動の支援

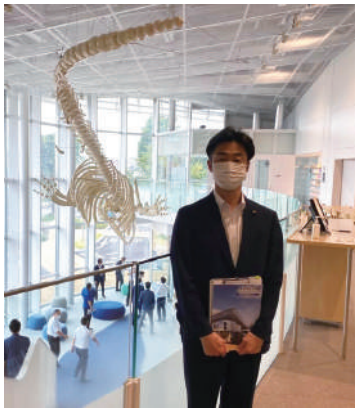
「防犯カメラ作動中」ステッカー設置

福生駅東口飲食店街で休業中の店舗が空き巣に入られる事件が発生しています。この地域に設置した7つの防犯カメラがより効果を発揮するよう「防犯カメラ作動中」ステッカーを設置しました。また、防犯カメラ未設置の裏道についても対策を講じます。防犯対策の充実と市民の防犯活動のさらなる支援を行っていきます。

視 察

25区若手議員の会で視察

「アキシマエンシス」を視察



昭島市教育福祉総合センター「アキシマエンシス」は、廃校となった小学校をリノベーションした複合施設で、国際交流文化棟には、市民図書館、郷土資料室、市民ギャラリーなどが設置されています。他近隣市との相互利用の協定の必要性を感じました。同志とともに広域連携の議論を深め市民サービスの向上につなげます。

臨時会　6月27日

補正予算審査

一般会計補正予算第４号は、専決処分されていた「事業継続応援金事業」の承認、新型コロナウイルス感染症対策を盛り込んだ一般会計補正予算第５号、「子育て応援キャッシュバック事業」「高齢者感染対策事業」「災害対策事業」など４億８,９５１万１千円を可決しました。私は「小学校教育環境整備事業」で購入する指導者用デジタル教科書の内容について質問。英語を中心に購入し、クラウド方式で一括管理するとのこと。デジタル教科書を有効に活用できるよう、先生方の研修等を要望しました。他にも、教育に関する事業を中心に質問しました。

横田基地の機能強化に関する決議

これ以上、基地機能強化をしないことなどを米軍と国に求める『横田基地の機能強化に関する決議』を横田基地対策特別委員会に提案し、委員全員の賛同を得て委員会提出議案として本会議へ。全会一致で可決しました。正和会会長の杉山議員を中心に準備を行い、決議まで進めることができました。今後も、迅速に基地対応を行っていきます。

6月定例会 一般質問

今後の予算執行などの重要事項について市の方針が明らかになり、いくつか提言もいたしました。

予算の執行等について

新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、市税及び国の税連動交付金など補助金収入の大幅な減少が懸念されており、今後は市の事業も「真に必要な事業」を見極め予算の執行を行っていく必要があります。

●今後の方針及び考え方と基準について

予算執行の3つの方針が示されましたが、より明確な事業選別の基準について検討することを要望しました。

●市独自の施策について

変化する情勢に応じて効果的な支援策を追加していくとの答弁でした。新型コロナウイルス感染拡大防止に関して積極的に独自施策を執行していく必要性を訴えました。

●大規模事業等について

今後の福生駅西口市街地再開発事業などの大規模事業について質問しました。事業の規模や費用について最適化した内容で参画していくとの答弁に対し、着実に前へ進めていただくよう強く要望しました。

市民への情報提供について

●動画の活用について

Satokoji Column
コラム

市議会議員として『コロナ禍』に思うこと

清の政治家 曾國藩（そこくはん）の言葉に四耐（したい）というものがあるそうです。耐冷（たいれい：世の中の冷たさに耐える）、耐苦（たいく：病や貧困など苦しいことに耐える）、耐煩（たいはん：忙しさや煩わしさに耐える）、耐閑（たいかん：閑［ひま］な状態に耐える）。コロナ禍のなか、子供たちも、若い世代も、高齢者世代も、それぞれの立場で耐え忍ぶ生活を余儀なくされている状況だと思います。議員としての活動も耐え忍ぶことを余儀なくされています。市民の皆さんとお会いする機会の減少、一般質問の中止・時間短縮、視察の取りやめなど、今まで当たり前に行ってきた活動ができない状況に「これでいいのか？」と自問自答。しかしながら、状況に流されるだけでは議員の職責は果たせません。議会運営・議員活動の本質を改めて考え直し、制限がある中でも十分な結果が出せるよう鋭意努力していきます。自信をなくしそうになったとき、私は「凡事徹底（ぼんじてってい）」という言葉を自らに言い聞かせます。日々なすべき基本的な事柄を、心を込め丁寧に行うこと。議員としての凡事を徹底し「これでよい」という自信につなげていきたいと思います。

佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

1968年、東京都日野市生まれ。
日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒。
小学生時代・・・カブト虫･クワガタや魚獲りに明け暮れる。
中学生時代・・・卓球部所属（市や地区大会で優勝！）
高校生時代・・・卓球部と体操部に所属。ロックバンド結成。
大学生時代・・・法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属。

職歴～現在

2015年 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業（型枠工事／二級建築士）を経て、福生市議会議員に初当選。議会運営委員会委員、総務文教委員会委員、議会改革に関する特別委員会副委員長、横田基地対策特別委員会副委員長、西多摩衛生組合議会議員など歴任。

2019年 福生市議会議員に再選。総務文教委員長、議会運営委員、横田基地対策特別委員、議会改革に関する協議会 座長代行、福生病院組合議会副議長、市議会会派 正和会 政調会長として活動中！

生年月日・血液型

1968年10月28日（さそり座）
O型

趣味特技

カラオケ、卓球、読書（社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです！）

政治観

地方自治は民主主義の学校である（J.ブライス）

家族

福生生まれの妻（介護福祉士）、大学生の長男、社会人の次男、高校生の長女との5人暮らし

地域活動

福生市本町町会 顧問
社会福祉法人不動福祉会 理事
（すみれ保育園･本町保育園･熊川保育園）

座右の銘

処人謙然（しょじんあいぜん）
「人と接するときには和やかな態度で接すること」

佐藤こうじ
公式ホームページ
佐藤こうじ 福生
https://www.sato-koji.com/

佐藤こうじ
Facebookページ
市議会議員は
毎日何をしているのか

福生 生きがい都市 宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局
TEL/FAX 042-849-2196
koji.sato.office@gmail.com
〒197-0022 福生市本町79

［発行］佐藤こうじ後援会　〒197-0022 福生市本町79　討議資料